



いろ かたち おお  
「色も形も大きさもちがう」

ちいろば会理事 望月 麻生

「O型でしょ?」って、よく言われます。大雑把だからです。O型でもきちんとしている人はいます。私は大雑把なタイプのO型です。蛇足ですが、中南米には、人口の7割から9割がO型という国々もあると言います。そこでも「O型は大雑把」という言い伝えは成り立つのでしょうか。また、友人には、「ずっとO型と想っていたが検査を受けたらB型だった」という者もおります。その人も今までずっと「O型だから大雑把」と言われてきました。B型になったら大雑把ではなくなったのでしょうか。

話を戻しますが、私は確かに大雑把です。でも、好きで大雑把な性格になったわけではありません。きちんとしている人たちに憧れます。「神さまは良いものをくださった」という歌詞の賛美歌があります。愛の園幼稚園の礼拝でよく歌います。その歌を聞くと、誰から見ても「良いもの」を持っている人はいいなど、うらやましくなることがあります。神さまのくださるものはすべて「良いもの」なのですが、中には、良さが大変わかりづらいものがあるのです。

イタリアでモザイク絵の技法を学んだ人が、こんなお話をしてくれました。

モザイクというのは、小さな石やタイル、ガラスなどを並べて作った作品の事です。

その人は、自他共に認める几帳面な人間です。ある日学校で、彼はガラスや石のかげらを寄せ集めて一枚のモザイク絵を作っていました。それはもう丁寧に。性格が現れるようです。

彼がふと横を見ると、一人の学生が同じく制作をしていました。「なんて雑なんだ!」並べ方、色、すべてが呆れるほど大雑把。ありえない、かれも思ったそうです。しかし、知人が本当に驚いたのはそのあと、自分の作品とその人の作品を2メートルほど離れて眺めたときでした。乱暴に見えた色の組み合わせは鮮やかな輪郭となり、大雑把すぎると見えた石の配置は生き生きとした躍動感を生んでいたのです。一方、「丁寧に作った自分のモザイクは、遠くから見ると小さくまとまりすぎて、存在感は皆無だったそうです。「雑」は必要なのだと、その人は言っていました。「雑」という言葉は自分をけなすためにあると思っていた私は、「雑は必要」と言われて、目からウロコが落ちたようでした。

わたしたちも、いろんな人が集まった、一枚のモザイク絵みたいなものです。その中にはものすごく細かい人がいて、途方もない大らかな人がいます。せっかちな人がいれば、おっとりしている人がいます。ちいろば園は、世界にたったひとつの、決して真似のできない、どこまでもダイナミックな名作です。

二〇〇〇年十二月十二日

第三種郵便物承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

## 「転職」が当たり前の時代の中で

ちいろば会事務長 和田 泰子

新年度がスタートしてゴールデンウィークに入ると退職代行サービスの利用者が急増するというニュースを見聞きする機会が増えます。今年も変わらず新年度スタート初日には入社4時間で新入社員が帰ってしまいそのまま出勤しなくなる、入社して1ヶ月は何とか頑張ってみたけどゴールデンウィークに入り家族や友人に仕事について話している中で、「やっぱり無理、仕事に価値を見出せない」「この会社では自分らしさが出せない」等いろいろ身勝手にも感じられる理由をつけて転職を考える人が増えるというのです。そして、新たな仕事を見つけるために人材紹介会社に登録して仕事を探し、特に仕事のイメージも持たないまま紹介された会社へ面接に出向くのが一般的になっています。

退職代行サービスや人材紹介会社のシステムに異論はありますが、時代が移り変わり、仕事に対する考え方や価値観が変化していく中で転職に対する考え方も変わり転職が当たり前の時代なので仕方がないと言われればそれまでだと思うし、現にちいろば会でも転職してきた人が職員集団の大半を占めるようになってきているのも時代を映す象徴だと感じます。

私自身、これまでは転職なんてあり得ないと思っていました。でも最近はある意味転職をする人たちはその決断ができる勇氣と覚悟を持っているのではないかと思うようになりました。それは採用面接に関わる中で、私自身はその勇氣と覚悟が持てるのだろうかと考えてみたり、自分は環境の大きな変化に恐怖を感じている臆病者ではないかと思うようになったからです。転職するということは、新たな環境の中で一から仕事を覚えなければなりません。そのためにはパワーが必要になりそのパワーにはとてつもなく大きな力が働くものだと思っています。振り返って考えてみると私も就職してある程度仕事を覚えられまでの期間や新たな業務に取り組むときには心身共に疲れていたなと感じる時期がありました。その感覚を再度経験できるかと聞かれると正直「できません。」と答えると思います。それくらい私の中で転職するということは大変な事態であることに間違いないということなのです。もちろん、転職をするすべての人がその勇氣と覚悟を持って決断しているわけではなく、軽く考えている人もいると思うので全面的に転職を肯定的に捉えられているわけではありません。

だからこそ、縁があってちいろば会に転職してきた人たちには時代と共に当たり前になった転職をこの組織で終わらせて長く働き続けてもらいたいと願っています。そのためには職員間のコミュニケーションを大切にして、ちいろば会がこの地域に存在する意味や職員集団として何を目指しているのかを日々伝え合うことのできる本当の仲間になることです。また、組織には一人で何でも出来るパーフェクトな職員が必要なのではなく、職員個々の強みや弱みを互いに補い合える強い職員集団になることが必要であり、自分自身がその組織の一員として自身の役割は何なのかを考えることができる職員になっていかなければならないと思っています。そして、それらを実現するためには心に余裕を持つことも必要でしょう。

— ぼくも わたしも みんなが<sup>しゅやく</sup>主役！！ —

— 木下 洋伸さんの場合 —

僕は、軽作業2グループで毎日みんなと一緒に作業をがんばっています。

ミサト履物さんの箱折りの作業の中で『クリップをはずず』作業がいちばん好きです。同じグループのメンバーが箱にクリップをつけて、折り目にしっかりかたがつけいたら『クリップをはずず』のが僕の担当です。作業に使うものは、

- ① 外したクリップをいれるケース
- ② 箱がちらばらないようにおける板を自分で準備します。



作業室には、作業の時にどこからとって、どこに何を  
おけばいいかわかる目印があるので準備から片付けも  
できます。今までは机の上で箱はばらば  
らになってしまっていたのが、今ではきれいにそろえ  
ておくことができます。  
これからも、みんなと協力してがんばります！

— 吉村 公嘉さんの場合 —

三郷町文化センターの休憩室にある、喫茶・軽食のお店

「MAGARI no ドンキー」でのぼくの様子を紹介いたします♪  
まず、開店準備です。コーヒーマーカーのお水を入れる作業が得意です。お水を入れるときも目印がついているのでこぼれません！  
目で見てわかる、ひとりのできる、だから自信がついて  
お客様にも大きな声で「こんにちは！」と言えます。



注文が入ったら、ぼくの出番です！  
手の消毒をして準備開始！  
メニューの写真を見ながら、トレー  
に並べるので簡単です。  
できたら、いざ、お客様のもとへ！



ぼくは同じマークを見つけ、どこのテーブルにも届けることができます。「お待ちせいたしました。ごゆっくりどうぞ！」の一言も忘れずに伝えます。

お客様の「美味しかったよ、ごちそうさま」の声がかかるととっても嬉しいです。これからも、大好きな接客を元気にいっぱい、笑顔で頑張ります



「みんなが主役！」の役員選挙

ちいろば園職員 新宮 由士

4月にみんなの会(当事者活動の会)の役員選挙が3年ぶりに行われました。

回を重ねるごとに立候補をする人も増え、今回の選挙ではなんと14名の立候補者が集まりました。選挙演説では普段では考えられないほど大きな声で話す人や緊張しながらも自分の想いを口にだして一生懸命話す人など、自分が役員になりたいという想いの強さがわかる演説になりました。言いにくい言葉が無いか、ここを伝えたいなど台本を支援者と確認して作り、事前に何度も練習に励む姿をみていたので舞台上立ち堂々と自分の想いを伝える姿をみて気持ちが熱くなりました。立候補者だけが選挙の主役ではありません。立候補者の中から7名の役員が利用者の皆さんの投票で決まります。利用者の中には自分でこの人に任せたいと投票することが出来る人もいれば、難しい人もいます。選挙ポスターをみてよく指をさしている人、普段から関わりが深い人などと考え一緒に投票する人を選ぶなど一人一人の気持ちが合った投票になるよう支援しました。投票場では自分がえらんだ人の写真カードを持ち間違いなく投票できるような工夫もみられました。結果が貼りだされ歓声が聞こえた時、とても良い選挙になったことを実感しました。まさに、「みんなが主役！」の役員選挙になったのではないかと思います。



おとなもOK!

# こどもかふえはじめます

地域の子もたちと障害をもつ人たちとの接点が増えたらいいなあ…  
 地域の子もたちが気兼ねなく立ち寄れる場として『こどもかふえ』をはじめます  
 期間中は、おいしい夏限定メニューを用意しています  
 子どもだけの来店に限り、ランチメニューを300円で提供します  
 暑くて外では遊べない…、家にいたらゲームばかりしちゃう…  
 ぜひ、ちいろば園(カフェドンキー)にあそびに来てね!宿題をもってきてもいいよ!

きかん 7月8日~9月2日  
 (土日、7月20日、8月13日・14日を除く)

ばしょ ちいろば園 カフェ ドンキー

ブルーベリーかき氷300円



コーラフロート300円



ムフィン200円~



## 絵の本ひろばもするよ!

とき: 7月29日(水) 10時~15時

絵の本あれこれ研究家 加藤啓子さんと、ちいろば園のみんながたくさん写真本・料理本・おもしろ本などを並べてお待ちしています。絵の本ひろば限定ミニパフェ、レザークラフトのワークショップもあるよ



## いちご狩りmore fun(より楽しく)

ちいろば園職員 由浅昌江

今年のちいろば旅行は4月17日に和歌山にいちご狩り、泉州で昼食と明治の工場見学に行ってきました。春に楽しめることとして初めての『いちご狩り』が旅行の行程に決定しました。『いちご狩り』ビニールハウスの中で自分でとったいちごを器に入れて食べる。でも初めて経験する利用者さんには なんだろう?? です。いちご狩りってどんなところなの? どんなものをつかって、どこを切って何にいれるの? どこで食べるの? 『視覚情報を使って説明する』ことからスタートです! 和歌山の渡辺農園さんのいちご狩りは、はさみで切ったいちごをパックに入れて席に座って食べるルールでした。片手にはさみ、片手にいちごパック。私もうまくできるかな? と不安になります。2回目の全体説明をする際に、ピクトグラム等の視覚情報を使っていちご狩りの詳しい説明。いちご狩りの場所・仕方・自然交配の為のミツバチがいること、自分にはピクトグラム作成から試行錯誤です。説明の後もわかりやすく伝わったか? 不安だらけです。次は行動班ごとにいちご狩りに使用する農園から提供されるパックの検討です。提供されるパックをそのまま使えます。当日パックを入れる袋を持参していちご狩りもできました。事前に各班ひとりひとりが自分で収穫できるように別に大きめの深いコップ、楕円形の形、虫取りかごなどの器、両手を使って収穫するには紐をつけて首からぶら下げるがいいか、器を腰にまいたら片手にハサミ、片手にいちごをつかめるか? と。家で廃材で使えるものはないか? スターバックスのコップ、味噌の空き容器、2リットルのペットボトルなど、何が使えるかな? と。私は、口が広いほうがいちごを入れやすいかなと考え、楕円形のプラスチックの器の両サイドに、身長に合わせて紐をつけました。当日は安定して首からさげて収穫できました。何度も収穫にいき、お腹いっぱいになりました! いちごで赤くなった服や、手を洗ってもいちごの甘い香りのする手を昼食に向かうバスの車内で感じ、『いちご狩りたのしかった!』との声で心の中で小さくガッツポーズがとれたかなと思いました。来年もちいろば旅行たのしむぞ!!



「らい予防法」廃止30年と菊池事件——隔離政策が生んだ過ち

架け橋 長島・奈良を結ぶ会 事務局 寺田 俊一

89年続いた「らい予防法」廃止から、本年4月1日で30年となります。この「絶対隔離絶滅政策」は、多くの患者・回復者、家族の人生を奪ってきました。

2001年「らい予防法違憲国賠訴訟」で国は敗訴。首相が謝罪し、ようやく責任を認めました。ハンセン病問題基本法が制定され、2019年の家族訴訟勝訴で、家族に及んだ「人生被害」も認められました。

日本のハンセン病政策は、1907年の「癩予防二関スル件」に始まり、1931年の「癩予防法」で全患者収容へと拡大、強制隔離政策が確立されました。さらに1953年の「らい予防法」は、すでにプロミンなどの治療薬が普及し、世界は在宅治療へ移行していた状況にもかかわらず、隔離政策を強化しました。

背景には優生思想があります。ハンセン病患者や障害者は「劣った存在」「排除すべき存在」とみなし、隔離や断種など深刻な人権侵害が正当化。国際社会がナチスのホロコーストの教訓から警鐘を鳴らしていたにもかかわらず、日本は「優生保護法」を施行しました。「らい予防法」と重なります。

この時代に「無らい県運動」が展開されました。官民一体、地域社会ぐるみで患者を密告・通報し、療養所へと狩り出す差別扇動です。社会全体に差別と排除を広げ、家族にも深刻な被害を及ぼしました。市民が患者の摘発に加担するという構図が生まれ、差別は社会全体に深く根を下ろしました。

菊池事件は1951年、このような状況の中で起きました。ハンセン病患者とされたFさんが、通報への恨みから殺害したとする事件です。Fさんは無実です。凶器の短刀は捏造、指紋も血痕もなく、衣類にも血痕はありません。証拠の柱とされた親族証言は警察の誘導、最終的に親族は否認。裁判は、菊池恵楓園内の「特別法廷」で非公開・密室で行われ、裁判官や検察官、書記官などが白衣と手袋を着用し、証拠を箸で扱うという異様な光景は、ハンセン病に対する恐怖と差別を象徴しています。弁護もされず、死刑判決が下され、執行されました。2020年にこの特別法廷は違憲であると認定され、最高裁も謝罪しました。明らかな憲法違反のもとで行われた裁判は、本来やり直されるべきです。

現在、福岡高裁で菊池事件の再審請求審が始まっています。1月28日に熊本地裁は、憲法違反を認めながら、再審はしないと、新証拠も門前払い。誤りを十分認識しながら司法体系全体に及ぶことを恐れた「棄却ありきの棄却」決定なのです。原告の回復者は「司法は死んだ！」と厳しく指摘。

菊池事件は、「絶対隔離絶滅政策」と「無らい県運動」の中で生み出された事件です。62年、第3次再審請求棄却の翌日に死刑が執行されています。判決前に執行は決まっていた。「政治的判断」があったことが強く疑われます。Fさんは、「絶対隔離絶滅政策」強化のための「いけにえ」にされたと思わざるを得ません。

「絶対隔離絶滅政策」の残したものは今なお根深くあります。昨年実施された厚労省の意識調査で、「触れたくない」「結婚したくない」といった回答が3割、家族補償に名乗り出ることができない現実です。

Fさんは何故殺されなければならなかったのか。「絶対隔離絶滅政策」の過ちが凝縮された菊池事件の再審開始と無罪一名奪回復を勝ち取ることこそ、その回答を導き出す唯一の道です。「らい予防法」廃止から30年を迎えた今、この歴史と正面から向き合い、同じ過ちを二度と繰り返さないための責任が私たちに求められていることを痛感します。

映画

～第15回 ハンセン病問題を学ぶ集い～

# 新・あつい壁 から ハンセン病問題を考える

**第1部 映画「新・あつい壁」中山節夫監督作品 上映(111分)**

**第2部 ハンセン病問題と菊池事件(45分)**

何が変わったのか、変わらないのか

この映画は、私が作ったというより、本当に入所者の皆さん、それからこの映画をご支援していただいた方々の熱意が結集したと思っております。

私がハンセン病患者を親に持つ子どもたちが、登校拒否に遭った事件を題材に撮った『あつい壁』が六九年。四十年経た今も、このタイトルが違和感無く使えてしまう現実にまだあります。確かに今日では療養所の入所者と、社会との交流も活発になり、啓発活動も広がり、療養所の内と外をめぐる状況は随分変化してきました。また、らい予防法が廃止され強制隔離政策がまちがいであったことを国が認め謝罪もしました。しかし私たち一人ひとりの差別意識が払拭されていないことも、いろんな事象・事件がものごとになっています。

劇映画『新・あつい壁』は、ハンセン病患者である事を理由に法の前の平等を踏みにじられた五十年以上も前の事件を通してそれを許した当時の社会の意識が今日どのように変わったのか、そして何が変わらないのかを描きました。

監督 中山 節夫



©映画「新・あつい壁」製作・上映実行委員会

## < 北部会場 >

**2026.6.13 (土)**

**13時開場 13時30分～16時15分**

定員60名 参加無料

ばしょ・ちいろば園 会議室

(奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14)

(近鉄生駒線 勢野北口駅下車 徒歩15分)

JR王寺駅から無料送迎あり(要申込)

申し込み・問い合わせ先

社会福祉法人ちいろば会

0745-72-1923 (奥田)

## < 中部会場 >

**2026.6.14 (日)**

**13時開場 13時30分～16時15分**

定員80名 協力費500円

ばしょ・奈良県社会福祉総合センター

(橿原市大久保町320番11) 5階

(近鉄橿原線 欽傍御陵前駅下車すぐ)

申し込み・問い合わせ先

架け橋 長島・奈良を結ぶ会

090-8575-1239 (中森)

[kakehashi.nara@gmail.com](mailto:kakehashi.nara@gmail.com)

**定員を設けていますので、事前申し込みをおねがいします**

**両日ともに、お席に空きがあれば当日も参加可能**

**主催： 架け橋 長島・奈良を結ぶ会  
社会福祉法人ちいろば会**

後援：奈良県教育委員会 奈良県市町村人権・同和問題啓発活動推進本部連絡協議会  
奈良県人権教育推進協議会 奈良県人権教育研究会 (一財)奈良人権部落解放研究所 奈良弁護士会  
橿原人権ネットワーク 桜井人権ネットワーク 奈良平和フォーラム 奈良県退職教職員協議会

★後援会費・ちいろばだより年間購読料(2026年1月1日~2026年3月31日)

ありがとうございました。

篠原範子、甲斐眞知子、川端邦芳、文新善、上村美奈子、学校法人ひかりの子学園、恵愛保育所、愛の園保育園めぐみ会、堺教会、馬見労務教会、高の原教会、医療法人金泉会

以上 敬称は略させていただきます。

- ※ ちいろばだよりの年間購読料は、500円/年です。ご協力いただける方は同封の振込用紙をご利用ください。
- ※ ちいろばだよりの配送停止をご希望の方は、ちいろば園までご連絡ください。

ブルーベリー狩り体験のご案内

7月22日(水)~8月7日(金)の間(平日のみ)恒例のブルーベリー狩り体験を実施します。

体験料は、お一人1時間以内で中学生以上500円、3歳~小学6年生300円です。

時間内に摘み取った実はその場で食べ放題です。時間中に摘み取った実をお持ち帰りされる場合、1パック(100g)320円です。

お問い合わせとご予約は、ちいろば園ブルーベリー担当まで・

- ※ ブルーベリー狩りは畑内の指定範囲に限ります。
- ※ 実の成り具合によって、ご予約を受けられない場合があります。

— 法人職員研修(公開講座のお知らせ) —

ちいろば会では、昨年度に引き続き「ハンセン病差別に学ぶ」をテーマに職員研修を実施します。下記の日程で、第4回目「ハンセン病差別に学ぶⅣ」として、ハンセン病家族訴訟原告団副団長 黄光男(ファン グァンナム)氏を講師にお招きして学びを深めます。この講座は公開講座として、地域のみなさまにもご参加いただけます。参加を希望される方は事前にご連絡ください。

開催日程: 2026年8月1日(土) 午前9時30分~12時30分

開催場所: ちいろば園2階会議室 TEL/0745-72-1923 担当—奥田、富田

●ちいろばまつりのご案内●

恒例の「ちいろばまつり」を下記のとおり開催します。



「絵の本ひろば」、あてものにゲーム、たべものなど、家族みんなの

おたのしみ一杯!! お友だちもさそって、あそびにきてください。お待ちしております。

★2026年9月12日(土) 10:30~13:00 ちいろば園にて★

KSKS ちいろばだより

編集人/ ちいろば会後援会 年4回 頒価50円

連絡先/ 奈良県生駒郡三郷町勢野北 5-6-14

TEL:0745-72-1923 FAX:0745-72-1924

ホームページ: https://www.chiiroba.or.jp

発行人/ 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル4F